



自動車整備業による
職場体験学習
受入れの手引き

〔自動車整備事業者 編〕

平成 28 年 7 月

一般
社団法人 日本自動車整備振興会連合会

まえがき

体験学習・インターンシップ等の職場体験は子どもたちが地域の事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験し、働く人々と接したりすることにより、働くことの意義を理解し、社会の一員としての自覚を高め、進んで働こうとする意欲や態度などを育むことを目的に地方自治体、教育委員会等の主導により推進、実施されております。

自動車整備業は地域密着型業種であり、地域社会への貢献が重要であることから、未来を担う人材育成支援、併せて自動車整備業界の健全な発展に資することを目的として職場体験学習を実施することが必要と考えます。

整備事業者と学校・生徒双方にとって、より効果的な職場体験学習・講師派遣の実施がはかれるよう、本手引きをぜひご活用ください。

職場体験学習受入れの手引き 目 次

1. 職場体験学習とは	P.1
2. 職場体験学習実施までの流れ(全体)	P.4
3. 職場見学(小学校)	P.6
4. 職場体験(中学校)／インターンシップ(高等学校)	P.8
5. 出前授業への講師派遣	P.14
Q&A／その他	P.17

1

職場体験学習とは

職場体験学習が求められる背景

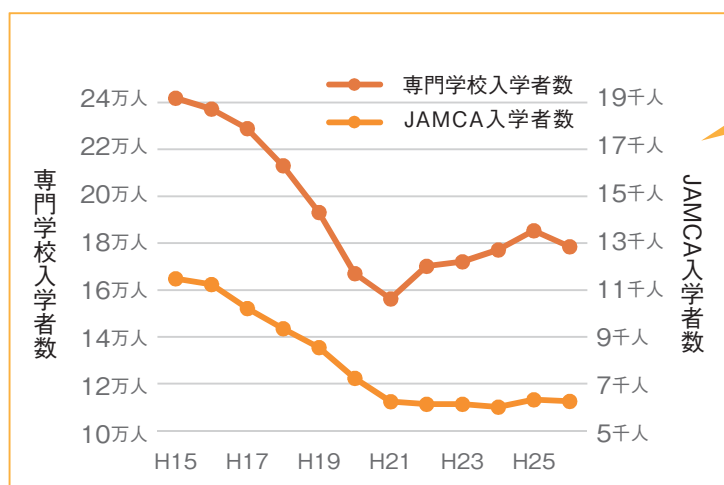
若者の進路選択や就業を取り巻く環境が大きく変化する中、目的や進路の意識が希薄なまま進学する若者、進路・職業の選択を先送りにする若者が増えています。

そのような背景をうけ、将来に夢と希望を持ち、活力に満ちた若者を育てるために、早い時期からさまざまな職場での社会体験を通して、「働く大人」と接し、働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学び、一人ひとりの勤労観や職業観を育む職場体験学習が必要とされています。

また、自動車整備業界においては、近年、少子化や車離れの進展等により、自動車整備士を目指す若者が激減する一方で、高齢化が進展し、近い将来、自動車整備業界を支える人材の不足が顕在化する可能性が大きくなっております。

そのため、将来の整備業を支える若年層の人材確保が重要となっており、今後継続した対策が必要です。

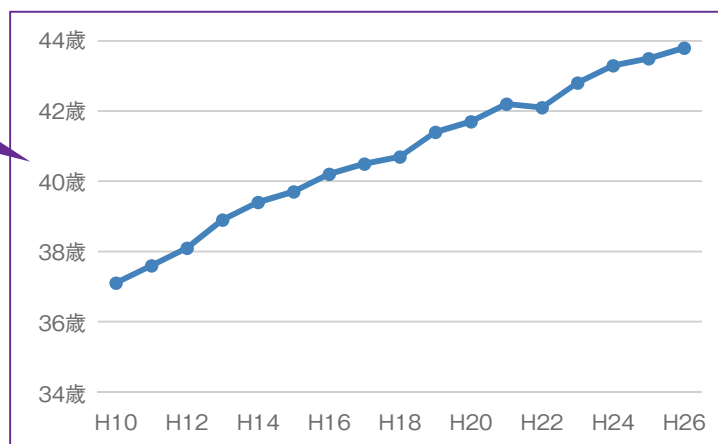
専修学校（自動車整備学科）入学者数の推移



自動車整備関連の大学校や専門学校への入学者は、10年前と比較して半減

整備要員の平均年齢の推移

整備要員の平均年齢は上昇傾向(平均年齢43.8歳、約2割が55歳以上)



職場体験に期待されること

職場体験には、生徒が直接働く人と接することにより、また、実的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させることが求められています。また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことのできる教育活動として、重要な意味を持っています。

小学校

職場見学等

- ① 職業観の基盤をつくる場
- ② 自分の将来を考える場
- ③ 地域社会への関心の向上の場

中学校

職場体験等

- ① 勤労観、職業観の育成の場
- ② 新たな自分を発見する場
- ③ 人間関係の大切さを体得する場
- ④ 学校と社会をつなぐ場
- ⑤ 職業生活や社会生活に必要な知識、技術に関心を持つ場
- ⑥ 地域への理解を促進する場

高等学校

インターンシップ等

- ① 勤労観、職業観の育成の場
- ② 社会人としてのマナーや言葉遣いなどを習得する場
- ③ 職業生活や社会生活に必要な知識、技術・技能を学ぶ場
- ④ 異世代とのコミュニケーション力向上の場

受入れ側のメリット

「出前授業」、「職場体験活動」などの職業に係る体験活動を通して、子どもたちの社会性を育む教育活動に参画することにより、未来を担う地域の「子どもたち・若者たち」の育成に貢献することができます。そして、すぐに数字に反映されなくとも、教育支援活動に取り組むことによって、目に見えない「利益」「信頼」「経験」が獲得できます。

未来の会社と整備業界の振興に寄与

子どもたちに、整備事業場の仕事内容や点検整備の必要性、自動車整備業界についてじっくり説明する機会はめったにありません。彼らに自分たちの仕事や業界について知ってもらい、「未来の会社」のファンになってもらうチャンスになります。

企業イメージ&知名度の上昇

教育現場において、大人が懸命に働く姿や仕事に対する思いを伝えることで、子どもから親、親から地域へと次第に話が広がっていきます。社会に貢献する企業として、必然的に会社の知名度が上がり、地域住民の信頼感につながります。

職場の活性化

生徒たちを受入れることで、自分たちの職場を新鮮な目で見直すことができます。子どもたちに仕事や会社の中で果たしている役割などについて説明する中で、社員の仕事への誇りや意欲の向上につながり、社内の活性化や社員のモチベーションアップにもつながります。

「人に教えること」が有効な社員教育になる

自分の仕事を子どもたちに伝えるためには、分かりやすく、言葉をかみくだいて説明する必要があります。生徒への指導を通して、社員が自己の業務に対する理解を深めることができます。また、新入社員等への指導の際に「職場体験活動受入れ」の経験を生かすことができます。

若者の意識の把握

普段なかなか知ることのできない子ども・若者の斬新な発想やアイデアに触れることで、企業活動のヒントにつながる場合があります。

好循環が生まれる

職場体験をきっかけに職場がきれいになったり、社員が自分の仕事に誇りを持ったり、地域で名前が知られたり、そのような小さな積み重ねが、会社全体の活性化につながっていきます。

企業が支える地域

出前授業や職場体験活動を通して、働くことの意味や大変さがわかり、子どもたちに親への感謝の気持ちが芽生えます。その結果、企業を含め地域社会全体での教育につながります。

2

職場体験学習実施までの流れ(全体)

主な流れ

「職場体験学習」の基本的な流れは次の通りです。

なお、準備の内容は、「小学校」「中学校」「高等学校」で多少異なります。詳細はそれぞれのページをご覧ください。

STEP1

事前学習

《児童・生徒》働くことの意義、職業の内容の理解等
《学校》体験学習実施計画の策定、体験受入れ先の選定等

STEP2

準備

《振興会・事業者・学校》学校側と受入れ側との基本事項の確認
「具体的なねらい」「スケジュール」「緊急時対応」「安全確保」等
《事業者》受入れ体制の整備

STEP3

実施

《事業者》●オリエンテーションの実施
●緊急時連絡体制の再確認
●反省会の実施

STEP4

事後学習

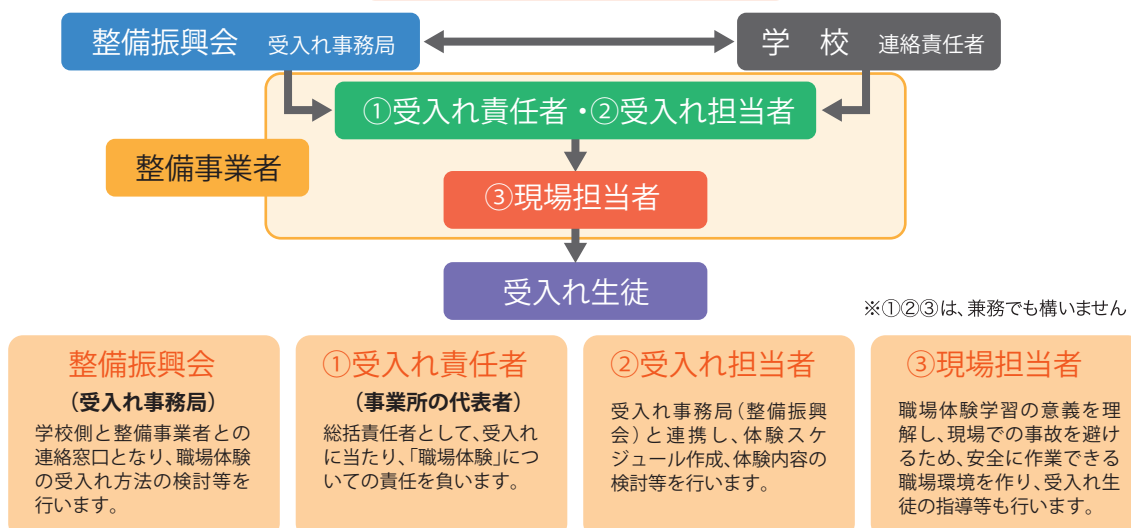
《事業者・学校》体験活動の振り返り
《学校》報告会の実施、報告書の作成
《事業者・振興会》整備振興会への実施結果報告

整備事業者は受入れ体制作りが必要です

受入れ体制の基本は次の通りです。

あくまでも参考の体制ですので、受入れ人数等の学校側の事情、および要員等受入れ側の事情に応じた組織を作ってください。

事業所内の受入れ体制(例)



振興会・整備事業者の確認しておくポイント

	小学生	中学生	高校生
事前準備			
学校側からの正式な依頼	○	○	○
学校側との日程調整	○	○	○
受入れ作業内容の検討	△	○	○
受入れ体制、可能人数の検討	○	○	○
受入れ生徒に関する情報（進路希望など）の入手	—	○	○
社内受入れ体制の構築	○	○	○
詳細な体験スケジュールの作成	—	○	○
学校側の事前指導の有無の確認	—	○	○
社内（事業所内）での周知	○	○	○
生徒の交通手段（経路）の確認	○	○	○
学校側引率者の体制	○	○	△
受入れ期間中			
初日のオリエンテーションの実施	○	○	○
出社・退社時のミーティング	—	○	○
最終日の反省会の実施	○	○	○
事後			
実施内容について学校側への報告	—	○	○
事後報告会への参加	—	○	○
生徒の感想文等の有無の確認	○	○	○
安全			
《事故の可能性》			
生徒自身の障害が発生した場合の連絡体制	○	○	○
事業者や第三者への損害が発生した場合の連絡体制	○	○	○
《事故防止のための事前指導》			
学校での指導が行われているかの確認	○	○	○
事業所においての各職場に応じた安全指導	○	○	○
生徒・自社に大きな損害を与える職場に従事させないなどの配慮	○	○	○
生徒側が加入している保険の確認	○	○	○
セクハラ			
セクハラになりやすい言動等の理解	○	○	○
受入れ側の担当社員全員へのセクハラ教育の実施	○	○	○
社内にセクハラになるような掲示物がないかの確認	○	○	○
性別に関して差別するような言動がないよう徹底	○	○	○
個人情報保護			
受入れ生徒の情報のきちんとした管理	○	○	○
現場写真等の使用に関する注意の確認	○	○	○
必要のない個人情報の廃棄	○	○	○

○：必ず実施して下さい △：必要に応じて実施して下さい

3

職場見学(小学校)

職場見学とは

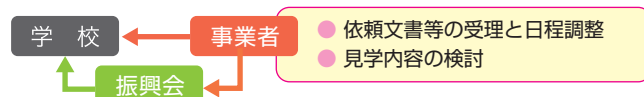
主に小学生を対象とし、半日程度のスケジュールで、職場などを見学するもので、一般的にはクラス単位で行われます。

【実施の流れ】

- ① 通例、小学校から振興会・事業者に見学の依頼があります。



- ② 振興会・事業者から、小学校に受入れ承諾の連絡と日程調整をします。

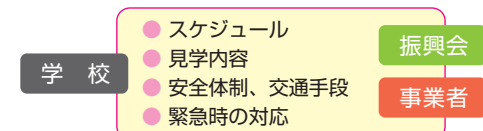


- ③ 小学校から受入れ内容についての質問がきます。
また、スケジュール表についての相談がきますので、小学校に返答して下さい。

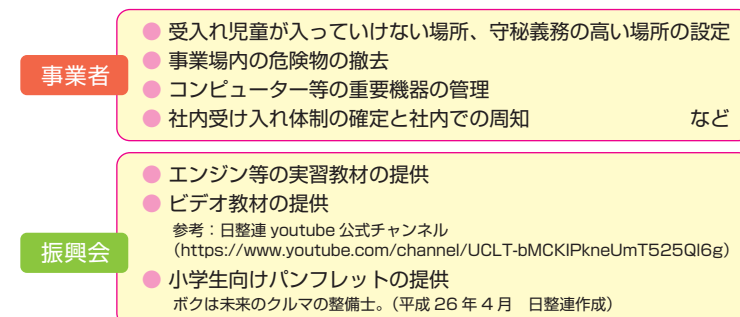


受入れ体制を作る (P.4 参照)

- ④ 小学校と振興会・事業者との間できちんと意識合わせをして下さい。



- ⑤ 振興会・事業者で受入れの準備を行って下さい。



職場見学 受入れ

受入れ後

学校や児童から感想文が送られてくる場合があります。
今後、効果的な職場見学を実施していくためにも内容を確認し、
社内の関係者で情報を共有して下さい。

当日のスケジュール

職場見学では、決められた時間を守る必要があります。そのため、スケジュール表の作成と留意点を事前に確認しましょう。

小学生「職場見学」の標準である平日半日見学のスケジュール例は次の通り

時 刻	全体的な動き	実 施 項 目
9:00	児童受入れ場所到着	● 受入れ担当者は「オリエンテーション」の実施場所まで到着した児童を誘導します。
15	オリエンテーション ● 学習にあたっての心構え ● 施設内の全体見学	● オリエンテーションは先生の進行のもと、学校側・受入れ側・児童代表の紹介があり、それぞれが挨拶します。 ● 受入れ担当者引率のもと、施設全体を見学します。
45	児童及び現場担当者の紹介	● 受入れ担当者の進行により、現場担当者の紹介をします。 ● 現場担当者は児童を職場に誘導します。
10:00	● 職場内での紹介 ● 避難場所の周知 ● 仕事の簡単な説明 ● 仕事ぶりの観察 ● 仕事の一部を体験 ● 児童との会話 など	● 職場内の引率は必ず従業員が主導して下さい。 ● 現場担当者の進行により児童が自己紹介をします。 ● 児童・先生に災害等が発生した場合の避難方法やトイレの場所を教えてください。 ● 児童との会話の中では、仕事のやりがいや仕事をしていくことの大切さ、今行っている仕事のことなど学習意欲を高めるような発言をして下さい。 ● 質問は最後にまとめて受けると、引率の先生の助けを借りることができ、効率的です。
11:00	↓	
40	● 職場内での御礼の言葉	● 先生の進行により、児童がお礼の言葉を述べます。 その後、現場担当者は児童をオリエンテーションの場所まで誘導し、終わりの会に参加します。
45	終礼	● 終わりの会では、学校側、受入れ側、児童代表による挨拶が行われます。
12:00	児童受入れ場所出発	終 了

4

職場体験(中学校)／インターシップ(高等学校)

中学校

職場体験とは

文部科学省「中学校職場体験ガイド」では、「生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動」と規定されています。

中学校での「職場体験」は、小学校の「職場見学」から、高等学校での「インターンシップ」へと職場体験学習を系統的につなげる意味において、重要な役割を持っています。「職場体験」は、各学校において、事業所や地域との深い連携・協力関係のもとに、幅広く導入していくことが強く望まれています。

職場体験の現状

国立教育政策研究所によると、平成26年度の「職場体験」実施率は98.4%に達しており、実施学年別では、全体の8割が2年生となっています。

実施後のアンケート結果では、約95%の中学校が「生徒に職業観・勤労観が芽生え、働くことへの関心が高まった」と答え、**キャリア教育の一環として「職場体験」は極めて有効な手段として認知されている**ようです。

高等学校

インターンシップとは

インターンシップとは、**高校生や大学生が一定期間、企業や事業所等において、実際に仕事を体験すること**です。国(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)は、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」と定義し、その具体的な内容は、1日の事業所見学から数週間の事業所研修体験、長期間の労働実践など、様々なものがあります。

インターンシップの現状

国立教育政策研究所によると、平成26年度の「インターンシップ」実施率は、公立高校(全日制・定時制・通信制)で78.2%ですが、公立高校に比べ、私立高校では39.9%と実施校が少ないのが現状です。

専門(職業)学科では、実施率が高く、実施日数も長く、生徒が過半数参加する形態がとられ、全校的な取り組みとして展開されています。

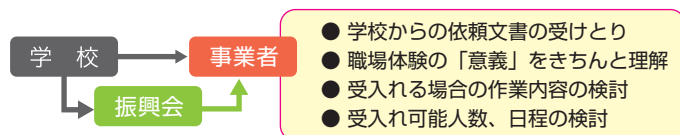
インターンシップとアルバイトの違い

アルバイトとは、決められた労働を提供する代わりにお金を得ることが目的のものです。インターンシップは、**将来のキャリアを築く上で役に立つ就業体験をすることが目的**です。

事業所にとっても、高等学校教育への援助、協力の一環として実施するものなので、賃金を払う必要はありません。

【実施の流れ】

① 通例、学校から振興会・事業者へ職場体験の依頼があります。

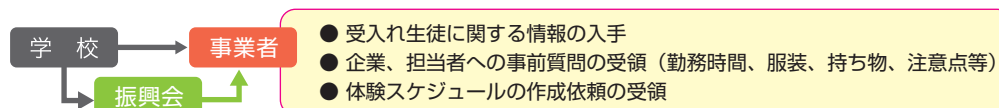


② 振興会が受入れ事業場の募集を実施した場合は、振興会が学校に受入れ承諾の連絡と日程調整をし、事業者へ情報提供します。

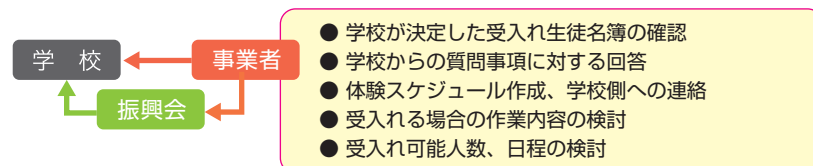


受入れ体制を作る (P.4 参照)

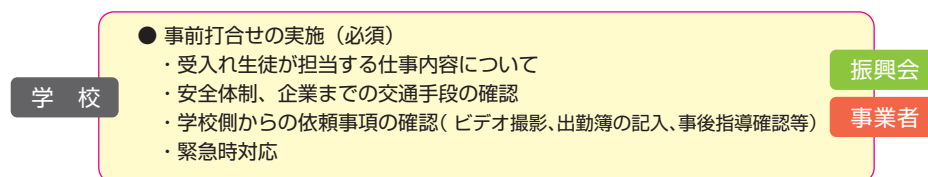
③ 学校から、詳細な情報が送られてきます。



④ 学校からの情報の確認と依頼事項の回答を行って下さい。

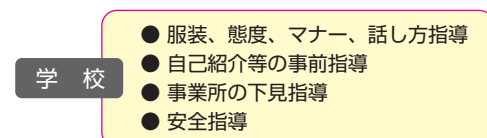


⑤ 事前打合せを実施し、学校と振興会・事業者との間できちんと意識合わせをして下さい。



⑥ 学校は受入れ生徒に対し、事前指導を実施します。

特に安全面や社会性・マナーを重点的に行います。
（振興会・事業者からも、事前指導の実施を依頼してください。）



⑦ 振興会・事業者も受入れ準備を行い、万全の体制を整える必要があります。

事業者

- 受入れ生徒が入っていけない場所、守秘義務の高い場所の設定
- 事業場内の危険物の撤去
- コンピューター等の重要機器の管理
- 社内受け入れ体制の確定と社内での周知
- ツナギ服等の作業着を支給する場合は、生徒の名札を用意する

振興会

- エンジン等の実習教材の提供
- ビデオ教材の提供
参考：日整連 youtube 公式チャンネル
(<https://www.youtube.com/channel/UCCLT-bMCKIPkneUmT525QI6g>)
- 体験学習テキストの提供
自動車整備工場に行こう！（平成 28 年 7 月 日整連作成）

職場体験 受入れ

受入れ後

職場体験終了後、学校から事後報告会への参加、アンケート記入、受入れ生徒に対する評価等の依頼がある場合があります。今後、双方にとって効果的な職場体験学習を実施していくためにもこれらの依頼への協力をお願いします。また、学校・生徒から感想文や礼状等が送られてくる場合があります。ぜひ社内で回覧するなど、会社全体で情報を共有して下さい。

留意するポイント

スケジュール作成の留意点

- ▶ **受入れの目的を、関係する従業員全員が理解して下さい。**
従業員全員が「一つの心」でないと、実施内容が不明確なものになる可能性があります。
そのため、その内容と意義を事前に従業員に把握させて下さい。
- ▶ **受入れ生徒の能力・体力を考えて、作業内容を決めて下さい。**
作業内容を検討する際は、受入れ生徒に対して、どの程度の作業をさせることが可能かを把握しておく必要があります。
そのため、事前に先生(場合によっては受入れ生徒)と打合せをしておくほうが良いでしょう。
- ▶ **受入れ生徒に関する情報を、事前に確認して下さい。**
より実のある職場体験にするため、事前に学校側から生徒に関する情報を確認したり、
生徒から将来の進路希望を聞いたりして、作業内容を定める時の参考にするのもお勧めします。
- ▶ **できるだけ多くの仕事を幅広く体験させ「働く」ことの意義や楽しさを教えて下さい。**
受入れ生徒には、企業(事業所)組織や経営に関しての理念を少しでも学ばせるために、
できるだけ多くの仕事を、幅広く体験させ、車がなおった喜びや、そこから得る充実感などを体感させて下さい。
- ▶ **危険な作業の体験は絶対に避けて下さい。**
あくまでも、就業体験なので、軽作業(補助作業)の体験に限定して下さい。
危険な作業体験は絶対に避けて下さい。

職場体験で生徒に接する際のポイント

受入れ側の 4つのポイント

良いときはほめ、
悪いときは
叱って下さい

社会的マナーや
礼儀の大切さを
教えて下さい

職業や働くことの
大切さを話して
下さい

自分の生き方や
学習の大切さ等
について話して
下さい

上記のポイント以外にも、気をつけなければならない項目として、

- ▶ **偏った先入観を持たない**
受入れ生徒に対しては、「偏った先入観」を持たないようにしてください。
また、彼らは、いまだ大人社会との関わりや実体験が希薄であることに留意するようにして下さい。
- ▶ **学生はまだ『未熟』であることを理解する**
職場体験中、戸惑ったり、挨拶や言葉遣いを身に付けていなかったり、私語をすることがあります。
これらは、決して人間としての本質の問題ではありません。彼らはまだ未熟なだけなのです。
本当の彼らの姿は「素直」で「まじめ」なことを理解して下さい。
- ▶ **受入生徒は「緊張」していることを理解する**
無愛想であったり、大きな声で受け答えできないなどの問題があっても、緊張から来るものが殆どです。
新しい環境に入っていく場合は、大人でも緊張するものです。思いやりのある一言が大事になります。
ちょっとしたことで気分がほぐれると本来の明るさが戻ります。

このような点を理解し、**大人としての寛容な心と社会人としての厳しい目の両方から彼らにしっかりと指導することも重要です。**

実施の際の留意点

▶ 体験学習・オリエンテーションの実施

体験学習・インターンシップ初日に必ずオリエンテーションを実施して下さい。
受入れ生徒にとっても「これから研修が始まる」と自覚させる意味でも必要です。

《主な実施事項》

- ① 企業（事業所）代表者からの挨拶（会社概要や経営方針の説明）
- ② 各担当者の紹介
- ③ 企業（事業所）の業務内容
- ④ 体験学習・インターンシップの意義、目的
- ⑤ 期間中のスケジュール、作業内容及び要点の確認
- ⑥ 諸注意及び安全対策の確認
- ⑦ 企業（事業所）内の案内、配属部署への紹介
- ⑧ ツナギ服等の作業着を支給する場合は、生徒の名札を作成し配布

等

▶ 出社時・退社時の対応

出社時・退社時にミーティングを行って下さい。それぞれ、以下の項目について、確認・実施する必要があります。

出 社 時

- その日の作業内容の確認
- 手順等の確認（安全上重要）
- 受入れ生徒の健康面の確認
- 目標や心構えの確認

退 社 時

- 整理整頓と清掃
- 翌日の業務内容の確認と準備
- 一日の反省会
- 日誌の記入

▶ 最終日

最終日には必ず反省会を実施して下さい。受入れ生徒が、期間中で得たことや反省点を振り返ることは重要です。
また、各担当者等からのアドバイスや激励の言葉なども体験学習・インターンシップの効果を高めます。

具体的事例

職場体験・インターンシップの具体的実施例として、以下の案件が挙げられます。なお、日数は、地域・受入れ場所等によって様々ですが、文部科学省のガイドでは5日間を推奨しております。2～4日間で実施する場合は、状況に応じて短縮して実施して下さい。

	体験学習プログラム	場 所
1日目	● オリエンテーション (スタッフ紹介、施設見学、仕事内容説明) ● 安全確認 (作業場内での諸注意) ● 自動車の構造・仕組みの講習 ● 作業体験 ・タイヤの脱着・オイル交換・洗車等 ● 1日の振り返り (反省会、感想)	● 整備事業場 作業場・フロント
2日目	● 車検制度について ・車検制度の説明 ・テスターを使用しての計測体験 ● 作業体験 ・廃エンジン等を使用した分解作業体験 ● 1日の振り返り (反省会、感想)	● 整備事業場 検査ライン 作業場
3日目	● 点検整備について ・日常点検・定期点検の説明 ・リフトの取り扱い ・実車を使用しての日常点検・定期点検整備体験 ● 1日の振り返り (反省会、感想)	● 整備事業場 作業場
4日目	● 自動車検査場の検査ライン見学 ● 1日の振り返り (反省会、感想)	● 独立行政法人自動車技術総合機構 (旧自動車検査独立行政法人) ● 軽自動車検査協会
5日目	● 自動車の新技術や整備業界についての講習 ・自動車の新しい機構・機能について ・自動車の安全・環境について ・自動車整備士とは ● 全体を通しての振り返り (反省会、感想)	● 自動車整備振興会

5

出前授業への講師派遣

出前授業への講師派遣とは

企業人等を講師として学校に派遣し、**職業や産業の実態、働くことの意義、職業生活等**に関して生徒に理解させることを目的とした活動です。

出前授業への講師派遣の意義

私たち企業人には、**自らが経験した職業、職種、仕事の内容に関する知識**があります。次世代を担う子供たちを社会全体で育成するという観点に立ち、学校から講義等の依頼があれば積極的に協力することが求められています。また、企業人の講演は**子供たちだけでなく、教員や保護者にとっても、職業の実際やその変化等を聞く絶好の機会**になります。

【事前・当日の流れ】

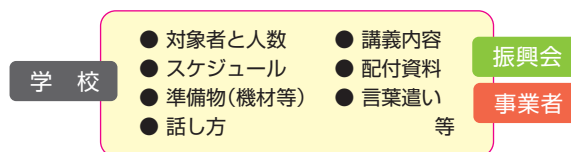
- ① 通例、学校から振興会・事業者に社会人講師派遣の依頼があります。



- ② 企業から、学校に受入れ承諾の連絡と日程調整をします。
(合わせて、どのようなテーマで話すかを確認します。)



- ③ 学校と振興会・事業者との間できちんと意識合わせをして下さい。



講演会当日

講演後

学校や児童・生徒から礼状や感謝状が送られてくる場合があります。ぜひ社内で回覧するなど、会社全体で情報を共有して下さい。

事前準備の留意点

テーマ選定

実際に、講師自身が適当だと考えるテーマと、教育現場が求めているものが違うことが多々あります。このようなことを防ぐために、話すテーマ・内容等については、担当の教師と確認する必要があります。また、同じテーマであっても、小・中・高等学校では話す内容を考慮する必要があります。

「自動車整備士の仕事」をテーマにした場合の内容例

多様な目的を持つ自動車の種類や、モータースポーツ、生徒の家の自動車の話など身近なところから、それら自動車をメンテナンスする自動車整備士にまで、順に話を広げるなどの工夫が必要。

中学生、高校生に対しては、自動車の概要(人口、保有台数)や車検についての解説及び点検・整備の必要性などについてテキストを使用するなど、わかりやすく説明をする。

国家資格である自動車整備士は、旧世代の自動車から最新の自動車まで取扱うため、幅広い知識と技術力が求められ、また、自動車整備工場は、自動車の点検・整備を通じて「安全・安心の確保」「環境の保全」に取り組んでおり、社会的使命をもって活動していることを伝える。

準備物・資料

教室には、プロジェクター・スクリーン等をはじめ、パソコン等も常備されていない場合があります。使用する設備は必ず学校側に事前に連絡してください。また、演台の位置や会場の形式(例えばグループ形式で実施する等)についても、事前に調整します。

資料作成の留意点

分量

- 小学生向けには、できるだけ枚数を少なくしてください。中・高校生の場合は、授業時間内できちんと収まるよう事前に時間配分を考慮する必要があります。

仕様

- 小・中・高校にかかわらず、文字だけでなく、写真・図・イラスト等を使うとより分かりやすくなります。
- 抽象的な表現は児童・生徒には理解しがたいものです。できるだけ、具体的な事例や最新のデータなども盛り込むのも効果的です。

単語

- 特に小学生の場合、使用する漢字に留意する必要があります。習っていない漢字は使用しないか、ルビを振るようになしてください。

報酬等

通例、無償で実施する場合が殆どですが、念のため確認して下さい。交通費等も同様です。

話 し 方

「うまく話をしよう」と考えず、仕事人でなければ話せない実体験談を話してください。生徒は教師の話を毎日聞いており、同じような話をしても誰も耳を傾けません。

留 意 点

- ▶ ゆっくりと大きな声で話をする
- ▶ 教壇に立っているときの目線は、教室全体を見渡すようにする。
また、小学生に質問する際は、児童の近くに行き、視線を低くし、目線を合わせるようにする
- ▶ 適宜質問等を入れながら、一方的な講義にならないようにする。
- ▶ 質問する際は、
《小学生》正答が返ってこない場合でも、ヒントを与えながら誘導する
《中学生》積極的に応答する生徒が極端に少なくなるため、授業の雰囲気にあわせ質問等を行う
《高校生》正答でなくとも、生徒の答えを尊重しながらすすめる
等の配慮が必要です。

言葉遣い

対象の生徒にあわせて、どのような言葉で話すのかを確認する必要があります。例えば、私たちにとって当たり前の「企画」「営業」※と言う言葉ですら小学生には理解しづらいです。子供の側に立って考えることが必要になります。

※小学生に話す時には、例えば、「企画」…計画をたてること 「営業」…物をお客様に売る仕事 と説明してください。

服 装

生徒は、教師にない何かを社会人講師に求めます。そのため、背広ではなく、作業服(つなぎ)、制帽等を身に付けることをお勧めします。自動車整備士の実際の服装に変えるだけで、現場の体験者・実務者というイメージを与えることができ、児童・生徒たちもスムーズに講師を受け入れる場合があります。

不適切な用語

中学生以上については、特に専門的な用語でなければそのまま使用しても理解できますが、口頭で注釈をつけるほうが良い場合もあります。また、注意すべき言葉遣いや内容(例えば保護者の職業に関する質問などプライベートな事柄等)などがありますので、事前に教師に確認して下さい。また、セクハラになるような性差別的な発言も避けてください。



Q&A よくあるご質問

全 体 編



職場体験学習とは何ですか。

A

児童・生徒の発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育事業の一環として、小学校では「職場見学」、中学校では「職場体験」、高等学校等では「インターンシップ」などを実施しています。



企業にとってどんな効果があるのでしょうか。

A

一番大きな効果は、私たち企業人が、職場体験学習に協力することにより、未来を担う子供たちの職業観・勤労観の育成に貢献できることです。そのほかの効果については、本文 P.3 をご参照ください。



学校との連絡方法はどのようにすればよいのでしょうか。

A

学校側も連絡窓口（連絡責任者）を設置していますので、同窓口と連絡を取り合うようにしてください。



職場見学の期間はどのくらいですか。

A

一般的に、平日・半日で行われる場合が殆どです。
但し、地域によって異なる場合があります。



職場見学はどれくらいの児童が見学に来るのでしょうか。

A

一般的に、1クラス（約40名）単位で実施される場合が多いようです。
但し、少人数になったり、多クラスの場合がありますので、学校の窓口に事前に確認してください。



職場体験の期間はどれくらいですか。

A

文部科学省の「中学校職場体験ガイド」では、5日間が望ましい記述されていますが、通例2～3日間で行われています。



職場体験にはどのくらいの生徒が体験にくるのでしょうか。



一般的に 5 ～ 6 人程度で実施されます。
但し、地域によって異なりますので、学校窓口と打合せをしてください。
事業所の負担にならないようにすることも重要です。



職場体験の始業、終業、休憩時間をどうすればよいのでしょうか。



原則は、学校の学習時間に沿って実施します。1 時限目の開始時間と 6 時限目の終了時間を目安にしてください。
但し、休憩時間については、生徒の体力を十分に勘案して多めに設定することが望ましいでしょう。



職場見学・職場体験(インターンシップ)後、すべきことはあるのでしょうか。



職場見学・職場体験(インターンシップ)後、学校側から感想等を聞かれる場合がありますのでご協力をお願いします。
また、こちらからも生徒の感想文の提出を依頼し、社内で情報共有するなど、今後効果的な職場見学や職場体験(インターンシップ)の実施につなげましょう。

出前授業への講師編



事前に学校側と調整しておかなければならない項目を教えてください。



まず、話すテーマとその内容です。講師自身が適当だと考えるものと学校側の希望するものが違う場合があります。
また、準備物や報酬等についても確認してください。パソコン、プロジェクター等企業ではあるのが当たり前のものでも、学校にはない場合があります。その他については、P.15 をご参照ください。



服装はどのようなものを着て行けば良いのでしょうか。



生徒は、教師にない何かを社会人講師に求めます。そのため、もし作業服等があるなら、背広でなしにそれを身に付けることをお勧めします。
社会人としての服装に変えるだけで、現場の体験者・実務者というイメージを与えることができ、児童・生徒たちもスムーズに講師を受け入れる場合があります。



言葉遣いで気をつけなければならないことはありますか。

A

彼らの立場にたって言葉を選んでください。まだ、習っていない言葉を使っても、子供たちには分かりません。あらかじめ、学校側に確認しておくといいでしょう。
学校では、使うのに不適切な言葉が多くあります。必ず、事前に学校側に確認するようにしてください。



話し方で気をつけなければならないことはありますか。

A

「うまく話をしよう」と考えず、仕事人でなければ話せない実体験談を話してください。生徒は教師の話を目に聞いており、同じような話をしても誰も耳を傾けません。
詳しくは P.16 をご参照ください。

リ ス ク 編



セクシャルハラスメント(以下セクハラ)についてはどのような注意が必要ですか。

A

職場体験学習は短期間なので、従業員の気の緩み等リスクが高くなる恐れがあるので注意が必要です。
また、社会人講師として学校に行く場合も同様です。うっかりセクハラに該当する言葉を発言しないよう、事前にセクハラとなる言動を確認しておく必要があります。
受入れ生徒がセクハラ行動を起こさないように気を配ることも必要です。彼らにはセクハラに関しての知識は殆どありません。



個人情報の流出が大きな社会問題となっていますが、職場体験学習を実施する上でどのような注意が必要でしょうか。

A

まず、児童・生徒の住所・氏名等の基本情報の取り扱いには十分注意をしてください。
また、受入れ時や講師派遣の際に撮影した児童・生徒の写真等の掲載は、例え社内報等の外部に流出し難いものでも、学校側に事前確認する必要があります。

保 険 編



受入れ側として、保険に入る必要があるのでしょうか。

A

小学校・中学校・高等学校等を問わず、一般的に、学校側が職場体験学習を実施する際は保険に加入しているケースがほとんどです。そのため、特に企業として保険に加入する必要はありません。但し、念のため学校側に加入の有無を確認するのも良いでしょう。



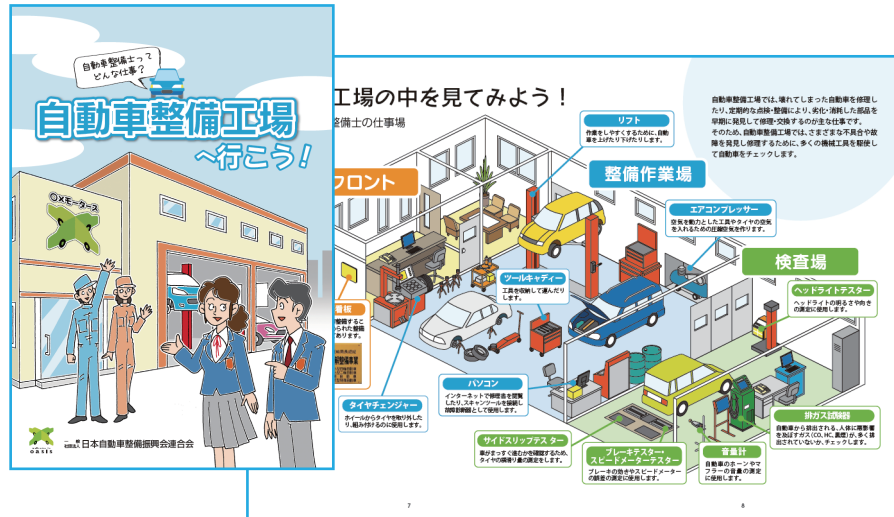
受入れ実施時に、使用する資料はありますか？

A 日整連で作成している、下記資料を活用するなどして分かりやすく伝えることが大切です。そのほか、自動車パーツのカットモデルによる構造の解説や、本物のエンジン等を使用した作業体験を実施すると効果的です。

○体験学習用テキスト

＜自動車整備工場へ行こう！＞（平成28年7月作成）

体験学習実施時に活用する、整備工場の解説等を掲載したテキスト



○整備士の仕事の紹介パンフレット

＜ボクは未来のクルマの整備士。＞（平成27年3月作成）

自動車整備士の仕事や活躍について掲載した、小学生向けのパンフレット



○マイカーハンドブック

自動車の日常点検やトラブル対処法等を掲載した自動車ユーザー向けテキスト



日整連youtube 公式チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLT-bMCKIPkneUmT525Ql6g>

自動車ユーザーの点検整備への理解を深めることを目的として、日常点検の方法や定期点検と車検の違い、定期点検の重要性等について説明した動画を掲載しています。

○「教えて☆てんけんくん～定期点検は認証整備工場で～」(平成27年7月作成)



○「てんけんくんの知って納得！クルマの点検・整備」(平成26年8月作成)



職場体験（インターンシップ）事前確認内容（整備事業者→学校）

職場体験（インターンシップ）の実施にあたっては、整備事業者から学校に事前に確認しておく事項があります。確認のため、メモにその内容を記載することをおすすめします。

職場体験（インターンシップ）事前確認メモ

《基本項目》

年 月 日

学 校 名			
所 在 地			
電 話 番 号		FAX番号	
学校連絡担当者		担任教師	
参 加 生 徒 数		学年・組	

《確認項目》

受 入 れ 期 日			
受 入 れ 時 間			
出 勤 場 所			
受入れ責任者	時 分 ~	時 分	（ 時 分 出社）
指 導 担 当 者			
作 業 内 容			
評 価 項 目			
緊 急 連 絡 先			
生徒に関すること			
交 通 機 関			
服 装			
昼 食			
持参するもの			
ロッカー等			
安全装備 (ヘルメット等)			
保険の有無			
そ の 他			

職場体験学習受入前のアンケート例（整備事業者→生徒）

職場体験（インターンシップ）の実施にあたって、事前に生徒の生活環境やどんな事を希望しているのかアンケートを実施し、把握しておくことをおすすめします。

職場体験事前アンケート

平成 年 月 日

学校名・学年 _____

名 前 _____

問1. 身長と体重をご記入下さい

身長 _____ cm 体重 _____ kg

問2. 家族で車に乗る人はいますか？どちらかに○を付けて下さい。

はい

いいえ

問3. 問2で「はい」と答えた方にお伺いします。家に車は何台ありますか？
また、どんな車ですか？メーカーや車種名等が分かれば記入して下さい。

_____台 車種等 _____

問4. パソコンは普段利用しますか？

はい

いいえ

問5. 問4で「はい」と答えた方にお伺いします。どういった事にパソコンを利用していますか？該当するものに○を付けて下さい。

① インターネット ②学校の宿題（勉強） ③音楽を聴く

④メール ⑤その他 _____

問6. 今回の職場体験でどんな事をやってみたいですか？

ありがとうございました

出前授業への講師派遣の事後アンケート（生徒→講師）

講師にとって、事後の評価をし、次の機会に反映させることも重要です。そのため、終了後、児童・生徒へアンケートを取ることをおすすめします。

※中学生へのアンケート例。利用学年によって、内容・表現等を変更してください。

年 月 日

講師派遣に関するアンケート (生徒記入用)

学校名・学年

名 前

●講師の講演（講義）を聞いて

○興味深かった点、参考になった点、学んだことについて具体的にお書きください

○理解できなかった点、難しかった点について具体的にお書きください

○今回の講演（講義）の内容についてご意見やご感想をお書きください

【参考文献】

- ①『小・中・高校生職場体験学習受入れの手引き企業用』
大阪商工会議所、大阪教育支援ステーション
- ②『中学校職場体験ガイド』
文部科学省
- ③『キャリア教育支援ガイドブック』
経済産業省、一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会
- ④『平成26年度職場体験・インターンシップ実施状況等調査結果（概要）』
国立教育政策研究所
- ⑤『商工会議所キャリア教育活動白書』
日本商工会議所

自動車整備業による 職業体験学習受入れの手引き

平成28年 7月

発 行 一 般
 社 団 法 人 日本自動車整備振興会連合会

制 作 邦美印刷株式会社

